

KAM能美市九谷焼美術館 | 体験館 |

あの人気作家に学ぶ

九谷焼

特別絵付講座



九谷焼の匠に
直接指導を受ける
唯一無二の絵付体験

赤絵講座

7月 5日(日)

講師

福島 武山
福島 礼子

デコ盛講座

6月13日(土) 7月19日(日)
8月 1日(土) 9月 5日(土)

講師

相川 志保

青手講座

6月 6日(土) 7月 4日(土)
8月22日(土) 9月12日(土)

講師

山近 泰

開催会場 KAM能美市九谷焼美術館 | 体験館 |
石川県能美市泉台南9番地

定 員 各講座10名(先着順)

※最低催行人数2名(人数に満たない場合は中止とさせていただきます)

受講料 20,000円(1日程の材料費・昼食代込)

体験時間 10～15時
(12時から1時間昼食休憩あり)

お申込み

電話またはメールにてお願いします

TEL 0761-58-6300

受付時間: 9時～16時

月曜休館(月曜が祝日の場合は翌平日休館)

MAIL

taiken@kutaniyaki.or.jp

赤絵 講座

名人が伝える、赤絵の世界。

講師 福島 武山・福島 礼子

九谷焼の赤絵は、京焼の名工「青木木米」の指導により金沢の春日山窯で制作されたのが作品の元となり、その後、赤絵の名工「飯田屋八郎右衛門」や「九谷庄三」「斎田道開」らによって赤絵細描画の画風が確立しました。

細かく描かれた小紋の数々を自分の手で描いてみませんか。作品が出来上がると制作の苦勞より大きな感動と喜びがあります。

講座日 7月5日(日)



青手 講座

「線を描き、色を塗る」ということ。

講師 山近 泰

青手の作品は古九谷をはじめ再興九谷の吉田屋窯など、江戸時代に数多くの名品が生み出されました。九谷焼を代表する絵付として、日本の色絵磁器の中でも異彩を放つ独特な様式といえます。特に特徴的なのは絵具に酸化金属を発色に用いており、焼成前と後ではかなり違いがでます。ぜひ九谷焼の神髄に、ふれてみてください。

講座日 6月6日(土) 7月4日(土) 8月22日(土) 9月12日(土)



デコ盛 講座

華やかなデコ盛に魅せられて。

講師 相川 志保

デコ盛は置物に多く用いられる、独特の絵付技法です。明治から昭和にかけて作られた輸出九谷に使用され、欧米の陶芸愛好家を驚かせました。一珍(いっちゃん)と呼ばれる絞り袋を使い、盛絵具で盛り上がった線を描きます。筆を使って描いたものとはまた違った華やかな九谷焼の楽しさを、ぜひご体験ください。

講座日 6月13日(土) 7月19日(日) 8月1日(土) 9月5日(土)



参加した方 からの声

相川志保ノデコ盛講座

以前、相川先生の作品をギャラリーで拝見し、イッテンの美しさに憧れていました。講座の企画を聞き心躍りました。

一日講座なので盛り方だけかな?と思っていたら花の描き方から全て教えていただき、特に洋絵の具での花びらのぼかし技法はとっても勉強になりました。

有名な先生に直接ご指導いただき参加できて本当によかったと思える講座でした。



福島武山一門ノ赤絵講座

赤絵細描の最高峰の先生の指導を受講できる企画を知り、すぐに申し込みました。今まで自己流で描いていたので大変勉強になりました。

私にとっては大変高度な題材でしたが先生方の柔らかい物腰や悩んでいた所を丁寧に指導していただき、濃密な一日を過ごしました。素晴らしい機会をありがとうございました。とても丁寧に教えて頂き、楽しく作業ができました。

